貸　借　対　照　表

（単位：円）

㈲吉見歯科器械店　　令和 8年 5月20日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【121,848,055】	【流動負債】	【90,455,890】
現金及び預金	36,571,147	買掛金	46,373,778
売掛金	70,292,642	短期借入金	35,000,000
商品	15,584,694	未払金	600,024
未収入金	79,572	未払費用	5,221,302
仮払金	20,000	預り金	1,373,934
貸倒引当金	△700,000	未払法人税等	142,000
【固定資産】	【18,879,360】	未払消費税	398,600
(有形固定資産)	(954,096)	賞与引当金	1,346,252
建物付属設備	2,972,755	【固定負債】	【2,222,330】
附属設備減価償却累計額	△2,559,739	長期未払金	2,222,330
車両運搬具	13,701,398	負債の部計	92,678,220
車両運搬具減価償却累計額	△13,345,154		
工具・器具	2,477,029		
工具器具減価償却累計額	△2,292,193		
(無形固定資産)	(140,606)		
電話加入権	140,606	純資産の部	
(投資その他の資産)	(17,784,658)	【株主資本】	【48,049,195】
長期前払費用	872,631	[資本金]	[10,000,000]
保証金	10,114,116	[利益剰余金]	[38,049,195]
保険積立金	4,485,344	利益準備金	300,000
預託金	20,940	(その他利益剰余金)	(37,749,195)
敷金	195,000	繰越利益剰余金	37,749,195
長期繰延税金資産	2,096,627	純資産の部計	48,049,195
資産の部計	140,727,415	負債･純資産の部計	140,727,415

個　別　注　記　表

自 令和 7年 5月21日

㈲吉見歯科器械店　　至 令和 8年 5月20日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しております。

1.重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産除く)

定率法又は旧定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く）については

旧定額法、平成19年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く）については

定額法、平成28年4月1日以降に取得した建物・付属設備・構築物については

定額法を採用しています。

無形固定資産・・・・・・定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・債権の貸倒損失に備えるために、法人税の法定による

法定繰入率によっています。

収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

収益・・・・・引渡基準

費用・・・・・債務確定基準

消費税の会計処理

税抜方式で計上しています。

2.株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数　　1,000株

当事業年度末日における　自己株式の数　　0株